

ヨシキタ! まかせろ! 一発除草!!



ジャンボ剤だから投げるだけ!!



投げ込み直後



拡散中



田んぼ全体に拡散

※SU抵抗性とはスルホニルウレア系除草剤抵抗性を示します。

※
SU抵抗性雑草をはじめ
幅広い雑草にしっかり効く!!



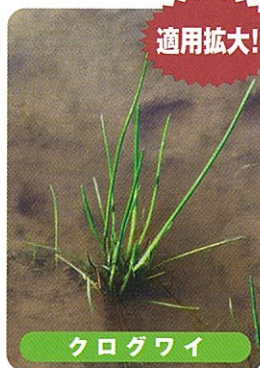
ホタルイ



コナギ

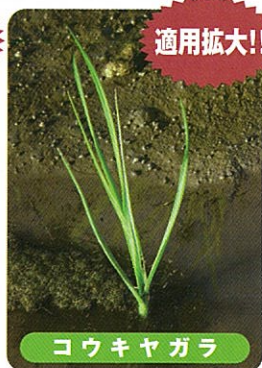


ノビエ



適用拡大!!

クログワイ



適用拡大!!

コウキヤガラ

■ジャンボ登場により3剤型揃ってますます便利!■



新 水稲用一発処理除草剤

ヨシキタ® ジャンボ

農林水産省登録 第22309号
ヨシキタは住友化学(株)の登録商標

特長

●SU抵抗性雑草をはじめ幅広い雑草にしっかり効く!!

3つの有効成分の合理的配合でノビエや、ホタルイ、コナギ、アゼナなどのSU抵抗性雑草に高い効果を発揮。

●あぜから投げ込むだけのカンタン散布!

田んぼに入らず使えるので省力的。

●移植直後から散布できる!!

雑草をしっかり防除するには早めの散布が重要です。

■適用と使用方法

2011年2月現在(太字は2010年5月適用拡大)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10a当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ(東北) ミズガヤツリ ウリカワ クログワイ (東北・関東・東山・東海) オモダカ (東北・関東・東山・東海) コウキヤガラ (関東・東山・東海) ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類 による表層はく離(東北)	移植直後～ ノビエ1.5葉期 ただし、 移植後30日まで	砂壤土～埴土	小包装(バック) 10個(400g)	1回	水田に 小包装(バック) のまま 投げ入れる	東北・北陸、 関東・東山・東海の 普通期及び 早期栽培地帯
			埴土～埴土				近畿・中国・四国の 普通期栽培地帯

早めの散布が
オススメ!

イマズスルフロンを含む
農薬の総使用回数

2回以内

プロモブチドを含む
農薬の総使用回数

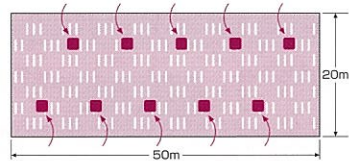
2回以内

ペントキサゾンを含む
農薬の総使用回数

2回以内

上手な使い方

- 10アール(1反)では
10個を投げ込む(6～10m間隔で)。



- ①散布時は水深5～6cm
にして下さい。
- ②藻類、浮草が発生する前
に散布して下さい。
- ③「濡れた手」で扱わない
で下さい。バックを破ら
ずにそのまま投げ入れ
て下さい。

●主要雑草に対する散布適期

ノビエ	1.5葉期まで
ウリカワ	発生始期まで(北陸は発生前まで)
ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ クログワイ オモダカ コウキヤガラ	発生始期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前～再生始期まで
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前

【使用上の注意】

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの1.5葉期までに、時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に使用してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さないで、有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 藻類または表層はく離の発生しやすい水田では、有効な剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植え付けが均一になるように整地、代かき丁寧に行い、ワラくすなどの浮遊物はできるだけ取り除いてください。また、未熟有機物を施用した場合は特に丁寧に行ってください。
- 処理に当たっては、水の出入りを止めて5～6cmの湛水状態に保ってください。処理後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じてください。
- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使い切ってください。
- 小包装(バック)のまま、10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 藻や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となり効果の劣る可能性があるので使用をさけてください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。

- 以下のような条件では薬害が発生する恐れがあるので使用をさけてください。特に、処理時または処理後数日以内に異常高温が重なる場合は、初期生育の抑制が顕著になるので注意してください。
 - ①砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)。
 - ②軟弱な苗を移植した水田。
 - ③極端な浅植えの水田。
- 梅雨期等、処理後に多量の降雨が予想される場合には、除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。
- 殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意してください。眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。また、かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空袋は田舎等に放置せず適切に処理してください。

23H2B11Y05:ZS

2011年2月作成(全新企画社)022

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP

住友化学

住友化学株式会社

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト i-農力 <http://www.i-nouryoku.com>